



生和糖業株式会社								
発行・編集：業務部原料課								
	11月				12月			
	最高気温	最低気温	平均気温	雨量(mm)	最高気温	最低気温	平均気温	雨量(mm)
本年	24.5	18.8	21.9	158.0	21.4	16.2	18.8	133.5
平年	24.0	18.1	21.0	147.6	20.2	14.3	17.3	100.9
平年との差	+0.5	+0.7	+0.9	+10.4	+1.2	+1.9	+1.5	+32.6

年頭の御挨拶

生和糖業株式会社

代表取締役社長 田中 睦生



新年あけましておめでとうございます。

2019/20年の操業は、12月18日のさとうきび輸送出発式から開始いたしました。

生産農家様・ハーベスタ組合様など関係者の皆様方のご協力をいただき、刈り取りも順調に進み、12月は概ね予定通りの操業となりました。皆様方に感謝申し上げます。

買入糖度も12月平均で14.2度であり、この6年間の中では最も好調なスタートとなっております。

一昨年の低糖度、昨年の低収量と厳しい状況でありましたので、一安心のスタートであり、大変心強く感じております。

また、喜界農業開発組合様が更新されましたデトラッシャーも問題なく稼働しており、脱葉作業効率も格段に改善されるものと思いき、生産農家様が丹精込めて栽培していただいたさとうきびから効率よく高収率にお砂糖を製造することができるようになるものと確信しております。新しいデトラッシャーにより、根株を除去出来るようになりましたが、その量が多くなり、計算したところ7,300トンの圧搾量に対して驚きの27トンでありました。

今期の圧搾見込み量が7万トンですから、今期の操業で270トン近く発生することになります。これだけ欠株が発生することとなりますので、収穫量にどれだけ影響するのか試算しましたところ2,000トン近くの収穫量減少となりました。これは7万トンの収穫量に対して3%に相当します。2019年は台風の被害が無いにもかかわらず茎数が平年の93%しかない状況も、うなずける大きな影響を及ぼしていると考えます。

関係部門と協働して一芽苗を多く作るようお願いしているところでもありますので、生産農家様におかれましては、是非とも収穫後の補植をお願いいたします。

圃場は至る所で出穂しており、また刈り取りを終えた生産農家の皆様にお話を伺ったところ「単収も良い手応えである」と心強いお言葉をいただいております。7万トンの収穫見込み量の上振れを大きく期待しておりますし、糖度も高値安定を大いに期待しております。

最後になりますが、さとうきび生産者・関係者の皆様におかれましては、さとうきびの刈り取り、搬入に際して安全作業、安全運転を心掛けていただきますようお願いし、年頭のご挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお願いいたします。

さとうきび生産振興大会

令和元年12月3日 喜界町自然休養村管理センターにおいて『令和元年度 喜界町さとうきび生産振興大会』が生産農家・関係者、約120名が来場する中開催されました。



GAP (農業生産工程管理) について

農作物を作る際に適切な手順やモノの管理を行い、食品安全や労働安全、環境保全等を確保する取組み。整理整頓されているとモノが探しやすく、安全に管理することができ、無駄なく作業ができます。

もしもの事故が起きた時でも、事前に対応が準備されていればパニックにならず迅速に対処できます。

一つ一つは難しいことはありませんが、それを継続して実践することが大切なのです。

大島支庁農林水産部
農政普及課 糖業畜産係
技術主査 芝 健士

今期の操業計画

きび処理見込み	70,000t
搬入圧搾開始	12月 18日
搬入終了予定	3月 23日
操業終了予定	3月 25日
洗缶日予定	2月 12日 13日

さとうきび共済制度と収入保険制度について

近年、台風などの自然災害が多発しています。今後も起こり得る自然災害等に備えて公的な保険制度である **農業保険 (収入保険・さとうきび共済)** に加入しましょう!

備えあれば憂いなし!!



お問い合わせ

喜界町役場 農業振興課内
大島農業共済事務組合 喜界支所

☎ 0997-65-3510

内容を見直し
次の計画に反映する

- どうして実践できなかったのか?
- 不十分だった点は何?
- 見直し項目はどれ?

改善

現場の課題を洗い出し
実行計画を立てる

- 作業内容を把握して作業を行う
- 作業に応じた準備を行う
- 使う道具や機械はちゃんと整備されているか確認

計画

● 洗浄した農薬散布機を
使用したか?

● 欠株がないか?

● ほ場の見まわり

計画どおりに

実行されたかを点検する

点検

- 作業内容を記録する
- 使う機械等のメンテナンスを行う
- 補植する
- 農薬散布時に保護具を着用する

計画に基づき
実行する

実行



スクープ

喜界町さとうきび生産対策では、スクープを無料で貸し出ししています。

貸し出中



小型トラクタで作業可能

速い作業スピード

* 作業時間・燃料も大幅削減!

ハカマを有機物活用

* ハカマを土作りに活かします

収穫直後の管理可能

* ハカマ堆積ほ場での中耕・反転によりハカマの埋め込みが可能

高速作業と有機物のすき込みで、労力・燃費・薬剤のコストを抑え、さらに土作りによる収量増で、単収アップを目指す。



ハーベスタ収穫直後のハカマ（枯葉）の積もった畑で作業が可能

ロータリと比較して

- ※ 燃料費10ha当たり1万円削減
- ※ オイルシールの破損がない
- ※ トラクタのPTO軸の故障がない
- ※ 耕うん爪の交換不要
- ※ 雨降り後でも作業可能

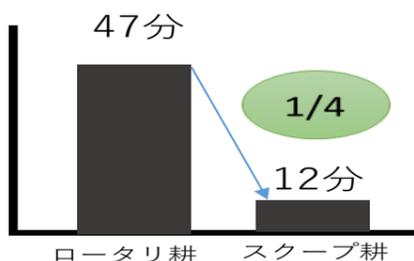
ここがポイント!

申し込み先

〔 生和糖業 原料課 〕

☎ 0997-65-3133

10a 作業時間 (分)



株出で収量アップを図ろう!

株出の茎数減少・欠株の主な原因

- メイチュウ・土壌害虫による芽子被害
- 萌芽時の低温
- ハーベスタによる株の引き抜き
- 多回株出し

単収を上げるために

- 収穫直後の株出管理
- 補植
- 病虫害防除
- ほ場の見回り
- 品種特性の把握と活用

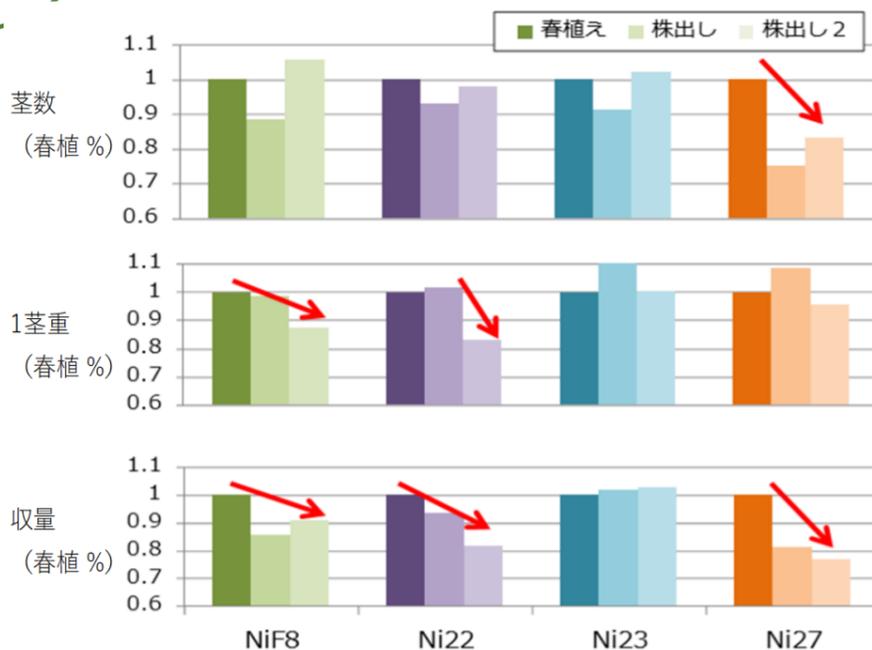
重要!

単収を上げるためには栽培初期の茎数確保と、その後の茎伸長が基本である。特に今後増加するとみられるハーベスターによる収穫を実施するほ場においては株の引き抜きや踏みつぶしで生じた欠株を解消して株数を確保する補植が株出し栽培を継続していくうえで最も重要になってくる。



さとうきびは、栽培環境、栽培条件に適した品種を選んで作付けすることで、はじめて品種の本来の特性・能力が発揮されます。

また、複数の品種をうまく組み合わせで栽培することは、作業の軽減（早・中・晩性品種の組合せによる収穫時期の分散）や気象災害、病虫害による被害の軽減にもつながります。品種の特性を踏まえた上で、作型、収穫方法、栽培の環境（土壌条件やかん水の有無など）に配慮して品種を選択することが生産の安定につながります。



2回株出しまでの原料茎数、1茎重、収量 徳之島支場における春植え対比6年平均

お知らせ

一芽苗の申込みについて

生産者 5円
補助（生和） 5円
補助（町） 5円

1月20日より支援センターにて申込み・受付致します。

喜界町さとうきび生産対策協議会

年内、工場に搬入された7,300トンのキビの内27トンもの根株がデトラッシャーにより排出されました。



政府は生産基盤の弱体化に歯止めをかけるべく農地中間管理機構を整備し、担い手に農地を集約する施策を打ち出したが、5年間で進捗率は56%にとどまり大きく出遅れている。農業者の減少、高齢化に伴い意欲ある担い手による農地利用の広域化が進んでいるが、農地の集約化は進んでいない。喜界島においても全国に先駆けて所有者不明農地の権利設定を行っているが思うように進んでいないようだ。

利用権の交換を希望する担い手それぞれがまず、農地中間管理機構に利用権を移転し、担い手ごとの希望を踏まえて利用農地を集約するよう配慮して担い手に転貸すれば、利用権の交換が一括して簡易に行えるようになる。将来を見据えて、一日も早い農地の集積・集約が進む事を願うばかりだ。